

2024(令和6)年度「講師プロフィール・講義要項」

科目名	台湾語
講師名	近藤 綾 (かな名 こうどう あや)
肩 書	拓殖大学言語文化研究所 講師(非常勤)
【講師プロフィール】 最終校: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学修士課程修了 略歴: 1979 年 東京生まれ。台湾語研究者 王育徳 の外孫。2002 年慶應義塾大学 文学部史学科 卒業、2004 年早稲田大学大学院国際関係学修了。専攻は台湾先住民族 ブヌンの近代史。2004 年 台北駐日経済文化代表処(大使館)勤務。2007 年『すぐ使える!トラベル台湾語』(日中出版)を出版。2002 年『王育徳全集』(前衛出版)編集、2012 年『王育徳の台湾語講座』(東方書店)共同執筆・編集、2011 年『昭和を生きた台湾青年』編集協力。2018 年台南市「王育徳記念館」総監修、台湾語 ブースの コンテンツ担当。2019 年、初の台湾語文学邦訳本『台湾語で歌え日本の歌』(陳明仁著)を共訳。2013 年より NPO「台湾を応援する会」事務局長。台湾応援キャラ「タイワンダー☆」を通じて台湾 本土 文化・言語に関する情報を発信中。心の故郷は、台南市と南投縣信義郷 Isingan (雙龍)村。 Youtube「近藤綾の台語真趣味!」:https://www.youtube.com/channel/UCCaYNnN7CndAK4Wqo0KiJIA	
受講生へのメッセージ 台湾語(台語/Tai-gí)は、閩南語をベースに台湾で独自の進化を遂げた言語で、ホーロー語とも呼ばれます。台湾総人口の70%を占めるホーロー系の人々の母語であるだけでなく、エスニックグループを超えて使われているため、台湾を代表する言語として「台湾語(たいわんご)」や「台語(Tai-gí)」と呼ばれます。 台湾では、戦後持ち込まれた台湾華語(台湾化されたマンダリン)の使用率が年々高まっているとはいえ、中南部や田舎ではまだまだ台湾語が主流ですし、都会でも、家族や親しい間柄では台湾語を使うという人が多く見られます。本講座では、正書法を学び、体系的に文法を学ぶことで、ただの挨拶だけではなく、自ら文章を作って話すことができる力が身につけられます。台湾で、より多くの人々と、より親密なコミュニケーションを取ることができるようになるはずです。初心者の方も大歓迎です。ぜひ一度、台湾語の世界に足を踏み入れてみてくださいね。	
授業概要 拙著『トラベル台湾語』を主要テキストとし、日本語ネイティブが、台湾語を学ぶ時につまずきやすいポイント(転調など)に気をつけながら、丁寧に指導します。はじめに表記法と音韻体系、そして簡単な挨拶を学び、文法を徐々に積み上げ、最終的には、ある程度自ら文を構成し、簡単な会話ができるようになることを目指します。歌やカルタを取り入れるなど、楽しみながら学べるよう工夫をこらす予定です。 ※下記は目安です。受講者の習熟度や進度によって適宜調整します。	
1	「台湾語ってどんな言葉?」台湾における言語状況の概説 簡単なあいさつ、受講者自己紹介
2	表記法の説明、発音の基礎/オンライン辞書や入力ソフトなどの紹介 あいさつ・基本表現の続き、学習資源の紹介
3	発音の続き、主に転調・軽声・リエゾンなど あいさつ・基本表現の続き

4	あいさつ・基本表現・ピックアップ ◆台湾語カルタで遊ぼう！
5	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ ◆台湾語で自己紹介をしてみよう！（練習）
6	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ
7	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ
8	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ
9	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ
10	出張一日目（第22～28課）よりピックアップ
使用テキスト・参考書 近藤 綾・温浩邦『すぐ使える！トラベル台湾語』日中出版、2007 年（全員ご購入をお願いします） 購入リンク: https://amzn.to/43sP5CC その他適宜プリントを配布するなど副教材を使用します	